

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

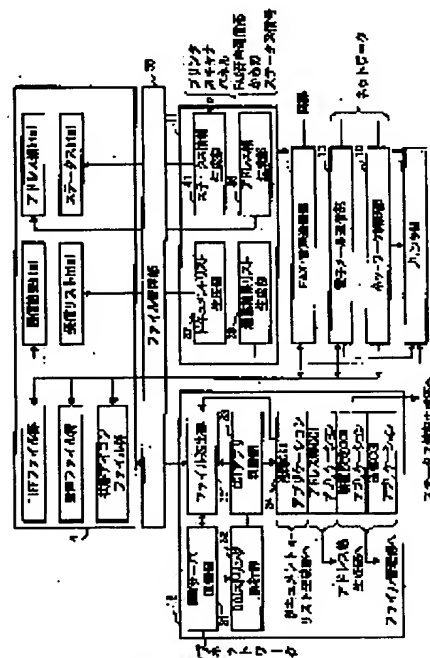
IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(11)Publication number : 2001-273221
(43)Date of publication of application : 05.10.2001

(72)Inventor : IIDA JUNICHI

SOLUTION: A structured document for displaying the states of respective parts in the device is stored in a storage part 4 and a status information generating part 41 switches status information in the structured document in accordance with the state change of the correspondent device. Then, the structured document stored in the storage part can be browsed by a WWW server 12 mounted on this device.



[Date of request for examination]	23.01.2001
[Date of sending the examiner's decision of rejection]	
[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]	
[Date of final disposal for application]	
[Patent number]	3313359
[Date of registration]	31.05.2002
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]	
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]	
[Date of extinction of right]	

03/10/31

(19) 日本国特許庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-273221
(P2001-273221A)

(43) 公開日 平成13年10月5日 (2001.10.5)

(51) IntCl.	識別記号	F I	特許出願公開番号
G 0 6 F 13/00	3 5 7	G 0 6 F 13/00	3 5 7 A
	6 4 0		6 4 0
		3/12	A
	3 0 5	11/30	3 0 5 C
		11/32	A
審査請求 有 請求項の範囲 10 O L (全 12 頁) 最終頁に続く			

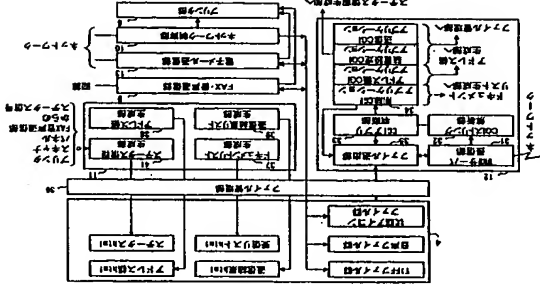
(21) 出願番号	特開2001-14908 (P2001-14908)	(71) 出願人	000187736
(52) 分割の表示	特願平11-19591の分割		
(54) 発明の名称	複合機及びステータス情報通知方法		
(57) 要約	クライアントからネットワーク経由で装置各部の状況をホームページ形式で簡単に見ることができるようになること。		
(58) 要約	装置各部の状況を表示させる構造化文書を記憶部4に保存する一方、ステータス情報生成部41が構造化文書内のステータス情報に対応するデバイスの状態変化に応じて切替える。そして、本装置に搭載したWWWサーバ12にて記憶部に保存された構造化文書を閲覧可能にする。		

(54) 発明の名称 複合機及びステータス情報通知方法

(57) 要約

【課題】 クライアントからネットワーク経由で装置各部の状況をホームページ形式で簡単に見ることができるようになること。

【解決手段】 装置各部の状況を表示させる構造化文書を記憶部4に保存する一方、ステータス情報生成部41が構造化文書内のステータス情報に対応するデバイスの状態変化に応じて切替える。そして、本装置に搭載したWWWサーバ12にて記憶部に保存された構造化文書を閲覧可能にする。



【特許請求の範囲】

- 【請求項1】 プリンタ機能、コピー機能、ファクシミリ機能を併せ持つ複合機において、前記各機能のステータス情報を同一画面上に表示する構造化文書が保存された記憶部と、前記構造化文書が保存された記憶部と、前記各機能が動作中であるかエラーであるかを示すステータス情報を、対応する各機能のデバイスの状態変化に応じて各々切替える切替手段と、前記記憶部に保存された前記構造化文書をネットワークに接続されたクライアント端末から閲覧可能とするWWWサーバ部と、を具備する複合機。
- 【請求項2】 ファクシミリ機能、プリンタ機能、コピー機能を併せ持つ複合機において、前記各機能のステータス情報を同一画面上に表示する構造化文書が保存された記憶部と、前記構造化文書内に記憶された、前記各機能が動作中であるかエラーであるかを示すステータス情報を、対応する各機能のデバイスの状態変化に応じて各々切替える切替手段と、前記記憶部に保存された前記構造化文書をネットワークに接続されたクライアント端末から閲覧可能とするWWWサーバ部と、を具備する複合機。
- 【請求項3】 印刷機能、画像読取り機能を併せ持つ複合機において、前記各機能のステータス情報を同一画面上に表示する構造化文書が保存された記憶部と、前記構造化文書内に記憶された、前記各機能が動作中であるかエラーであるかを示すステータス情報を、対応する各機能のデバイスの状態変化に応じて各々切替える切替手段と、前記記憶部に保存された前記構造化文書をネットワークに接続されたクライアント端末から閲覧可能とするWWWサーバ部と、を具備する複合機。
- 【請求項4】 印刷機能、画像読取り機能、通信機能を併せ持つ複合機において、前記各機能のステータス情報を同一画面上に表示する構造化文書が保存された記憶部と、前記構造化文書内に記憶された、前記各機能が動作中であるかエラーであるかを示すステータス情報を、対応する各機能のデバイスの状態変化に応じて各々切替える切替手段と、前記記憶部に保存された前記構造化文書をネットワークに接続されたクライアント端末から閲覧可能とするWWWサーバ部と、を具備する複合機。
- 【請求項5】 前記切替手段は、各機能毎に複数の分組されたデバイス状態と複数のステータス情報とを対応づけるテーブルを参照して、状態変化が検出されたデバイスの変化後のステータス情報を選択する請求項1から請求項4のいずれかに記載の複合機。
- 【請求項6】 前記ステータス情報の表示と共に、保存文書の一覧であるドキュメントフォルダ、送信優先情報であるアドレス帳、装置の設置情報にリンク付けされたメニューを表示することを特徴とする請求項1から請求項5のいずれかに記載の複合機。
- 【請求項7】 前記ステータス情報としてデバイス状態を画像で示す状態アイコンを用いることを特徴とする請求5の3のステータスアイコン受信ホームページにアクセスする。その

- 【請求項8】 前記状態アイコンは、デバイスの状態を記述したコメントを含むことを特徴とする請求項7に記載の複合機。
- 【請求項9】 前記ステータス情報としてアイドルの情報を付することと特徴とする請求項1から請求項8のいずれかに記載の複合機。
- 【請求項10】 プリンタ機能、コピー機能を併せ持つ複合機において、前記各機能のステータス情報を同一画面上に表示する構造化文書が保存された記憶部と、前記各機能に対応したデバイスの状態変化を検出するステータス情報生成部と、前記構造化文書の内容を更新するステータス情報生成部と、クライアントからのファイル要求に応じて前記構造化文書を送信するステータス情報生成部と、を具備するステータス通知方法。
- 【発明の詳細な説明】
- 【0001】
- 【発明の要約】 本発明は、電話回線網やインターネット又はLAN等のネットワークに接続してファクシミリデータや電子メールデータの送受信を行うことができコピー機能やプリンタ機能を持つインターネットFAX等の複合機に関する。
- 【0002】
- 【従来の技術】 最近、インターネットFAXとWWWサーバとを組み合わせてファクシミリ受信データを再処理する方法が提案されている。これは、インターネットFAXが電話回線から受信したデータを電子メールに変換する機能を利用したものである。
- 【0003】 図12に、インターネットFAXとWWWサーバとを使用してファクシミリデータの送受信を行う場合のシステム構成を示す。
- 【0004】 まず、インターネットFAX1101が電話回線を介して受信したイメージデータは、インターネットFAX内で電子メールの添付ファイル形式に変換されて電子メールの添付ファイルとしてWWWサーバ1103宛てに送信される。
- 【0005】 インターネットFAX1101から転送された電子メールは、ネットワークを介して電子メールサーバ1102に受信される。電子メールサーバ1102に受信された電子メールは、再度ネットワークを介して宛先であるWWWサーバ1103へ転送される。
- 【0006】 WWWサーバ1103は、電子メールの添付ファイルイメージデータとして蓄積し、ファクシミリ受信ホームページにリンクする。ここでファクシミリ受信データの蓄積が終了する。
- 【0007】 受信データをクリックイベントでリンク1104に取り込むためには、ユーザがクライアントマシン110404でWWWブラウザを起動してWWWサーバ110303のファクシミリ受信ホームページにアクセスする。そ

ス転送部38は、電話投入時やアドレス帳の内容を変更などしたときに最新のアドレス簿データをアドレス帳のHTMLファイルに組み込む処理も実行する。【0039】また、HTMLファイル生成部11は、通信結果リスト生成部39及びステータス情報生成部41を備える。通信結果リスト生成部39は、FAX・音声通信部9及び電子メール通信部13から通信結果を示すログ情報を持って通信結果リストを収めたHTMLファイルを作成・更新する。

【0040】ステータス情報生成部41は、スキヤナ部5、プリンタ部6、パネル部7、FAX・音声通信部9からこれらの状態を示すステータス信号を取出して上記各部の状態を登録されたHTMLファイルを作成・更新する。例えば、プリンタの状態としてアイドル、動作中、エラー（ジャム、トナー切れ）があるとする、これら各状態を視覚的に示えるアイコンを作成しておく。そして、プリンタ部6からのステータス信号に応じて該当する状態のアイコンをHTMLファイル（ステータスhtml）に登録する。

【0041】FAX・音声通信部9は、送信CGIプログラムから送信処理の指示、送信文書番号、宛先端末のFAX番号等を渡される。送信文書番号が渡された場合は該当文書番号の送信データ（イメージ）を外部記憶部4から取り出して送信バッファに入れ、電話回線に接続して宛先端末のFAX番号へ送信する。【0042】電子メール通信部13は、送信CGIプログラムから送信処理の指示、送信文書番号、宛先端末のメールアドレス等を渡される。送信文書番号が渡された場合は該当文書番号の送信データを外部記憶部4から取り出して送信バッファに入れ、LAN又はダイヤルアップでインターネットに代表される各種ネットワークに接続して宛先端末のアドレスへ送信する。

【0043】次に、本実施の形態にかかるネットワークファクシミリ装置の動作について説明する。本装置の各部の現在の状態をアイコンをクラリアントマシン202上に表示させる動作を、図4のフロー図に従って説明する。

【0044】ネットワークファクシミリ装置は、ホームページアドレス（URLアドレス）が入力されるまでは待機状態にある。

【0045】ネットワークに接続されたクラリアントマシン202が、WWWブラウザ（閲覧ソフト）を起動し、ネットワークファクシミリ装置のURLを入力してアクセスする（ST401）。

【0046】アクセスを受けたネットワークファクシミリ装置は、WWWサーバ部12がURLを受け取って応答する。WWWサーバ部12は、クラリアントマシン202からURLを受信した場合、ホームページのメイン画面のファイルを表示するためのHTML文書であるインデックスファイル（index.html）を送

出する（ST402）。【0047】クラリアントマシン202のWWWブラウザは、index.htmlの内容を解析して必要なファイルを要求するコマンドをWWWサーバ部12に対して送出する（ST403）。

【0048】図5に示すように、インデックスファイル（index.html）はメインファイル（main.html）とステータスファイル（status.html）とからなる。クラリアントマシン202は、メインファイルとステータスファイルとをWWWサーバ部12に対してファイル要求する。メインファイルにはパナソニック、指示版アイコン等のホームページのメイン画面部分を構成する各種ファイルが含まれているので、これらのファイル要求が出される。ステータスファイルにはパナネル部7の状態を示すパナネル状態アイコン（panelxx.gif）、プリンタ部6の状態を示すプリンタ状態アイコン（printerxx.gif）、スキヤナ部5の状態を示すスキヤナ状態アイコン（scannerxx.gif）、FAX・音声通信部9の状態を示す通信状態アイコン（faxxx.gif）のステータス画面部分を構成する各ファイルが含まれているので、これらのファイル要求が出される。

【0049】クラリアントマシン202では、上記ファイル要求に必要なファイルを取得してホームページイメージ画面を表示させる（ST405）。図6に示すように、メイン画面はメインファイルに基づいて構成されたドキュメントフォアグラウンド及び設定・ツールの各アイコンと、ステータスファイルに基づいて構成されたステータスの各アイコンとが表示される。

【0050】パナネル状態アイコン61、プリンタ状態アイコン62、スキヤナ状態アイコン63及び通信状態アイコン64は、それぞれ各部の形態を概念的に表した形状のシンボルマークと、各シンボルマークのすぐ下に表記される各部の状態を示すコメントと、から構成される。シンボルマークは各状態に応じてその表示色が異なるようにしている。例えば、アイドル状態の色はグリーン、動作中の色はグリーン、エラーはレッドとする。本実施の形態では、シンボルマークの表示色とコメントとで状態を表現している。図6に示す例では、プリンタ状態アイコン62は、プリンタの形態を概念的に表した形状のシンボルマーク65と、シンボルマーク65のすぐ下に表記された状態を示すコメント66＝「パワーセーブ」から構成される。

【0051】図7にステータスファイルのソースファイルを示す。「IMG SRC=…」の行は状態アイコンのファイル名が設定されている。パナネル状態アイコン61のファイル名は「panel00.gif」、プリンタ状態アイコン62のファイル名は「printer00.gif」、スキヤナ状態アイコン63のファイル名は「scanner00.gif」、通信状態アイコン64のファイル名

特開2001-273221
10
(6) した通信状態番号をセットし、フラグをONさせる（ST908）。

【0059】このようにして各部の状態チェックが終了したら、フラグがONされたデバイスがあったかどうかチェックする（ST909）。フラグがONされたデバイスがあればステータスhtmlの更新を行う（ST910）。

【0060】ステータスhtmlの更新について、プリンタを例に説明する。図8にプリンタ状態番号とファイル名の対応テーブルを示す。プリンタ部6で発生する個々の状態に対してプリンタ状態番号が付与されている。対応テーブルには、各プリンタ状態番号に対応してプリンタ状態アイコンのファイル名（gifファイル）が登録されている。このgifファイルに、プリンタ状態番号に対応したプリンタ状態を視覚的に示すシンボルマークとコメントが含まれている。対応テーブルに登録されている状態アイコンのgifファイルは外部記憶部4に状態アイコンファイル群として保存されている。

【0061】ステップST910では、図8の対応テーブルを参照して、フラグONされたデバイスの状態番号に対応する状態アイコンのファイル名を取得する。そして、外部記憶部4から図7のステータスhtmlを取り出す。いま、プリンタ部6の状態がパワーセーブ状態から用紙切れ状態に変化したものとする。この場合、更新前のステータスhtmlにはプリンタ状態アイコンのファイル名として「printer00.gif」が設定されている。更新処理では、プリンタ状態アイコンのファイル名を「printer00.gif」から「printer02.gif」に変更する。「printer02.gif」のファイルには、プリンタシンボルをレッドで表示したシンボルマークと「用紙切れ」のコメントとからなるプリンタ状態アイコンが登録されている。したがって、クラリアントマシン202が更新後のステータスhtmlを読み込むと、プリンタ状態アイコン62が用紙切れを表すアイコンに変わる。

【0062】このように、本ネットワークファクシミリ装置側ではステータス情報生成部41が、スキヤナ部5、プリンタ部6、パネル部7、FAX・音声通信部9の各部の状態を監視して、状態に変化があれば変化後の状態に対応した状態アイコンをステータスhtmlに反映させている。

【0063】図10にクラリアントマシン202でステータスhtmlを読み込むタイミングのフローチャートを示す。上記したように図6のホームページのメイン画面を開いたときに（ST1001）、ステータスhtmlを読み込んでステータスに関連する状態アイコン等を表示させる（ST1002）。ホームページのメイン画面に状態アイコンを表示させたまま更新時間が経過すると（ST1003）、またネットワークファクシミリ装置からステータスhtmlを読み込み、この新しく読み

は「fax00.gif」である。これら状態アイコンのファイルは本ネットワークファクシミリ装置から取得して、図6に示すステータス画面部分を表している。【0052】また、ステータスファイルには「META HTTP-EQUIV=…」の行に状態アイコンを更新する時間を設定している。「Refresh」CONTENT="xx"」で更新時間が定められる。

【0053】ここで、本ネットワークファクシミリ装置におけるステータスファイルの生成動作について説明する。外部記憶部4にはステータスhtmlが保存されており、ステータス情報生成部41が、各部の状態の変化を検出するとステータスhtmlの該当データを更新している。

【0054】図9にステータス情報生成部41によるステータスhtmlの更新動作のフローチャートを示す。

スキヤナ部5、プリンタ部6、パネル部7、FAX・音声通信部9では自己の動作状態を管理して、定期的に又はリアルタイムで現在の状態を示すステータス信号をCPU11に通知する。又は、自己の動作状態をバイス内に保持して、CPU11がそのステータス信号を取りに行く。

【0055】ステータス情報生成部41は、パネル部7のステータス信号をチェックして、前回チェック時のパナネル状態と今回のパナネル状態とが異なっているか否かを判断する（ST901）。状態変化が検出されれば、今回のパナネル状態に対応したパナネル状態番号をセットし、フラグをONさせる（ST902）。このフラグは状態変化があったことを示すフラグである。パナネル状態番号はパナネル状態としてパナネル状態アイコン61で表示する個々の状態に対して付与されている。他の状態番号も同様である。状態変化が検出されない場合は、プリンタ部6のチェックに移行する。

【0056】次に、プリンタ部6のステータス信号をチェックして、前回チェック時のプリンタ状態と今回のプリンタ状態とが異なっているか否かを判断する（ST903）。状態変化が検出されれば、今回のプリンタ状態に対応したプリンタ状態番号をセットし、フラグをONさせる（ST904）。状態変化が検出されない場合は、スキヤナ部5のチェックに移行する。

【0057】次に、スキヤナ部5のステータス信号をチェックして、前回チェック時のスキヤナ状態と今回のスキヤナ状態とが異なっているか否かを判断する（ST905）。状態変化が検出されれば、今回のスキヤナ状態に対応したスキヤナ状態番号をセットし、フラグをONさせる（ST906）。状態変化が検出されない場合は、FAX・音声通信部9のチェックに移行する。

【0058】次に、FAX・音声通信部9のステータス信号をチェックして、前回チェック時の通信状態と今回の通信状態とが異なっているか否かを判断する（ST907）。状態変化が検出されれば、今回の通信状態に対応

10
20
30
40
50

11 込んだステータスhtmlにて状態アイコンを表示させ
る。更新時間は、図7のソースファイル (STATUS.html) において Refresh CONTENT=xx で指定された時間である。WWWブラウザは、読み込んだステータスhtmlに上記更新時間の行が挿入されているか、更新時間が経過する度にステータスhtmlを更新する。これにより、指定時間の間にネットワークファクシミリ装置でデバイスに状態変化があれば変化後の状態アイコンが表示されることになる。

12 【0064】 また、更新時間内にユーザから設定指示があれば (ST1004) 、更新時間に達しなくてもネットワークファクシミリ装置からステータスhtmlを認識し込んで更新する。図7に示すステータスhtmlのソースファイルの5行目 (Ahref=...) に、画面表示の「ステータス」を選択したら status.html を読み込む、といった命令の行を入れている。したがって、ステップST1004において、図6のメイン画面を表示した状態のとき「ステータス」と書かれたアイコンが選択されると、ステップST1002へ移行してステータスhtmlを読み込むことになる。メイン画面の表示が終了するまで、上記各ステップの処理を繰り返す (ST1005) 。

13 【0065】 これにより、ユーザはネットワークファクシミリ装置の現在の状態を知りたいときに、「ステータス」と書かれたアイコンを選択することにより、即座に更新された状態アイコンを見ることができ、

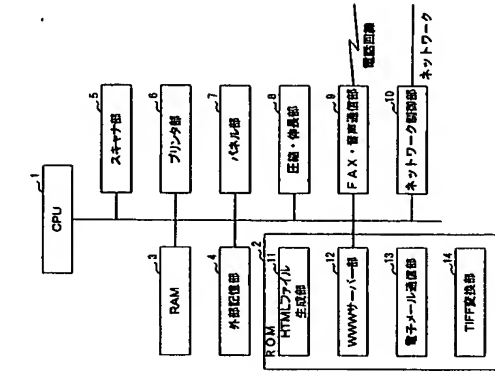
14 【0066】 次に、図4のプロチャートに示すステータス情報更新時間をクライアントマシン202から設定する動作について説明する。いま、ステップST405でホームページのメイン画面が表示されているときに、図6の更新時間設定アイコン67が選択されたものとする。WWWブラウザは更新時間設定アイコン67が選択されると、設定画面ファイルの要求を出す (ST406) 。

15 【0067】 図11に更新時間を設定するための設定画面の構成例を示す。この設定画面のHTMLファイルが外部記憶部4に保存されている。ファイル要求を受けたWWWサーバ12はファイル管理部36に該当ファイルの要求する。外部記憶部4から読み出された設定画面のHTMLファイルはクライアントマシン202へ送信される (ST407) 。

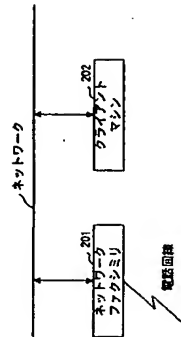
16 【0068】 設定画面のHTMLファイルを受信したクライアントマシン202は、図11に示す設定画面を表示させる (ST408) 。設定画面にはステータス情報の更新時間を入力するボックスが設けられている。ユーザは、このボックスに所望の更新時間を入力してから決定ボタンを押すことになる。設定画面の決定ボタンが押されると、ステータスhtmlの指定時間を更新する処理を要求するCGI処理要求が出力される (ST409) 。

- 2 ROM
- 3 RAM
- 4 外部記憶部
- 5 スキャナ部
- 6 プリンタ部
- 7 バネ部
- 8 圧縮・伸張部
- 9 FAX・音声通信部
- 10 ネットワーク制御部
- 11 HTMLファイル生成部
- 12 WWWサーバ部
- 13 電子メール通信部
- 14 TIFF変換部
- 31 WWWサーバ通信部
- 32 CGIストリング解析部
- 33 CGIアプリケーション部
- 34 CGIアプリケーション部
- 35 ファイル送出处
- 36 ファイル管理部
- 37 ドキュメントリスト生成部
- 38 アドレス帳生成部
- 39 通信結果リスト生成部
- 41 ステータス情報生成部

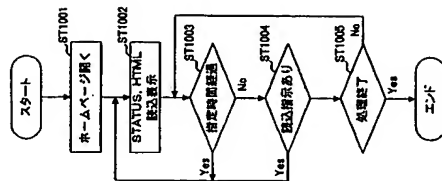
【図1】



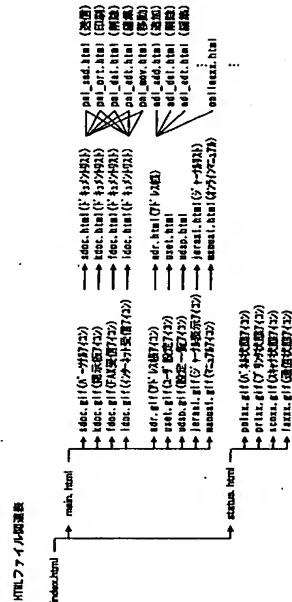
【図2】



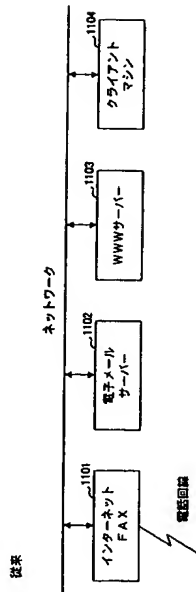
【図10】



【図5】



【図 1】



【手続補正書】

【提出日】平成13年6月18日(2001. 6. 1)

8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 プリント機能、コピー機能を併せ持つ複合機において、

構造化記述言語で作成されたホームページから提供可能な各種機能を表示する機能表示画面部分を構成するメインファイルと、構造化記述言語で作成され前記各種機能が動作可能状態であるエラー状態であることを示すステータス情報とを機能毎に表示するステータス画面部分を構成するステータスファイルとから構成され、ホームページに機能表示画面部分及びステータス画面部分を分割表示させるホームページファイルを蓄積した記憶部と、

前記記憶部に対応するデバイスに状態変化があると状態変化後のステータス情報が前記ステータス画面部分に表示されるように前記記憶部に蓄積された前記ステータスファイルを書き換えるステータス情報生成手段と、ネットワーク経由で接続されたクライアント端末から要求に対して該ファイルを前記クライアント端末へ送信してホームページを前記クライアント端末のブラウザで閲覧可能にするWWWサーバ部とを備え、

前記WWWサーバ部がクライアント端末から受信したホームページファイルの要求に対して前記メインファイル及びステータスファイルを送信して前記クライアント端末に前記機能表示画面部分と前記ステータス画面部分とから構成されるホームページ画面を表示し、前記クライアント端末から前記ステータスファイルが要求された最新のステータスファイルだけを返信して前記ステータス画面部分だけを更新することを特徴とする複合機。

【請求項2】 前記ステータスファイルは、ステータス

情報を更新する更新時間が設定されていて、前記クライアント端末において前記ホームページを表示したまま前記更新時間が経過したら当該クライアント端末から自動的に前記ステータスファイルの要求を発生させて、前記クライアント端末へ前記ステータスファイルだけを返信することによりホームページのうちステータス画面部分だけを更新することを特徴とする請求項1記載の複合機。

【請求項3】 前記ステータス画面部分にステータス情報の更新指示ボタンを設け、前記更新時間が経過する前に前記更新指示ボタンが選択されたならば即座に前記ステータスファイルの要求を発生させることを特徴とする請求項2記載の複合機。

【請求項4】 前記ステータス情報生成手段は、各機能毎に複数に分類されたデバイス状態と複数のステータス情報とを対応づけるテーブルを参照して、状態変化が検出されたデバイスの変化後のステータス情報を選択する請求項1から請求項3のいずれかに記載の複合機。

【請求項5】 前記機能表示画面部分には、文書の転送指示を行うための指示ボタンを表示することを特徴とする請求項1から請求項4のいずれかに記載の複合機。

【請求項6】 前記機能表示画面部分には、アドレス帳にデータ登録を行うための指示ボタンを表示することを特徴とする請求項1から請求項5のいずれかに記載の複合機。

【請求項7】 前記ステータス情報としてデバイス状態を画像で示す状態アイコンを用いることを特徴とする請求項1から請求項6のいずれかに記載の複合機。

【請求項8】 前記状態アイコンは、デバイスの状態を記述したコメントを含むことを特徴とする請求項7に記載の複合機。

【請求項9】 前記ステータス情報としてアイドルの情報を有することを特徴とする請求項1から請求項8のいずれかに記載の複合機。

【請求項10】 プリント機能、コピー機能を併せ持つ

複合機において、構造化記述言語で作成されたホームページから提供可能な各種機能を表示する機能表示画面部分を構成するメインファイルと、構造化記述言語で作成され前記各種機能が動作可能状態であるエラー状態であることを示すステータス情報を機能毎に表示するステータス画面部分を構成するステータスファイルと、を別々に管理し、前記記憶部に対応するデバイスに状態変化があると状態変化後のステータス情報が前記ステータス画面部分

に表示されるように前記ステータスファイルの書き換えを実行し、前記複合機にネットワーク経由で接続されたクライアント端末からホームページファイルの要求を受信したら、前記メインファイル及びステータスファイルと前記クライアント端末へ送信し、前記クライアント端末において開かれたホームページに前記機能表示画面部分と前記ステータス画面部分とを分割表示する、ことを特徴とするステータス通知方法。

フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁷

H04N 1/00

識別記号

107

FI

H04N 1/00

Z

107Z

1/32

1/32

Z